



イベント 終了しました

## 出版社を知るシリーズ第3回 学術専門出版社「雄山閣」 の100年 —社史研究家と語る、その存続の理由—

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>大正5年（1916）創業、今年100周年を迎える雄山閣は、極めて小さな学術専門出版社である。創業以来、ベストセラーも滅多にない考古学、日本史、民俗などの学術専門出版を100年継続してきた。戦前、戦争時代、戦後の発展期、バブル崩壊など、激動する社会の荒波のなかで、100年存続できたのはなぜか。</p> <p>多くの企業の来し方を熟知する社史研究家・村橋勝子先生と、日本の他業種の企業例と比べながらその理由を探り、そこから見える出版の意義と未来について考える。</p> <p>知られざる小出版社の波乱万丈の100年！</p>
日にち	2016年07月22日（金） 19:00から20:30
日にち説明	18：30開場

場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	<a href="#">0722 学術専門出版社「雄山閣」の100年 チラシ</a>
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（事前申込順）
参加費用	1,000円

講師・出演者	村橋勝子/西端真矢
プロフィール	<p>■村橋 勝子（むらはし かつこ） 社史研究家。元・経済団体連合会情報メディアグループ長。在職中に1万冊の社史現物を観察して斬新な切り口で多面的に実態分析、『社史の研究』（ダイヤモンド社、2002年）にまとめる。「社史」という一般にはなじみのなかった情報領域に潜む尽きせぬ魅力を広く紹介した社史研究の第一人者。著書はほかに『にっぽん企業家烈伝』（2007年）、『カイヤ意外史：社史が語る仰天創業記』（2008年、ともに日本経済新聞出版社）がある。</p> <p>■西端 真矢（にしはた まや） 文筆家。1970年生まれ。東京都出身。上智大学文学部卒業。編集プロダクション、広告代理店勤務を経て、独立。『婦人画報』『JAL SKYWARD』『DUNE』などの雑誌やウェブサイトにて、随筆、取材記事、インタビュー記事を多数寄稿。また、着物にも造詣が深く、『美しいキモノ』など専門誌で執筆する他、着物イベントのプロデュースも行っている。2016年、雄山閣百年史をノンフィクション小説の形式で書き下ろす。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
共催	雄山閣

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2016年05月22日 10:00 から2016年07月22日 19:00
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示	2016年 07月
<input type="checkbox"/> イベント開催日	日 月 火 水 木 金 土

■ 休館日						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

発信日	2016.05.22
-----	------------

 印刷

 リストに追加

ツイート